

教育と医学の会 シンポジウム

主催：教育と医学の会
共催：九州大学教育学部
慶應義塾大学出版会

日時 2015年11月7日(土)
13:00～16:00

会場 天神スカイホール
(旧・福岡国際ホール)
福岡市中央区天神1-4-1
西日本新聞会館16階
TEL 092-712-8855

参加費 無料

問合せ先 慶應義塾大学出版会
「教育と医学」編集部
Tel.03-3451-5665 Fax.03-3454-7024
〒108-8346 東京都港区三田 2-19-30

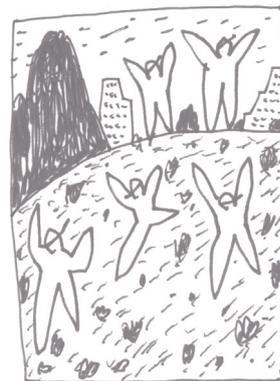
テーマ

発達障害の移行期支援の課題

—「発達障害者支援法」施行から10年を迎えて—

「発達障害者支援法」が施行されて10年を迎えました。この間、発達障害児の早期発見・早期介入の体制作りや特別支援教育など、様々な取り組みが盛んになっています。一方、中学校卒業以降の就学や就労に向けての支援体制はまだ十分とはいえません。

今回のシンポジウムでは、そうした移行期支援のあり方について、第一線で活躍する専門家のお話をうかがい、理解を深めたいと思います。



内容

コーディネーター……………黒木俊秀 (九州大学大学院人間環境学研究院教授、精神科医師)

話題提供 ● 青年期の発達障害者支援の現状と課題

田中真理 (九州大学基幹教育院教授、臨床心理士)

● 青年期の発達障害のアセスメントと支援

木谷秀勝 (山口大学教育学部教授、臨床心理士)

● 発達障がい者支援センターの歩みと移行期支援の課題

緒方よしみ (福岡市発達障がい者支援センター「ゆうゆうセンター」前所長)

質疑応答 参加者と話題提供者

申込方法 事前に下記のホームページからお申し込みください(当日参加も可)。

(事前にお申し込みの方を優先して席にご案内いたします)

<http://www.keio-up.co.jp/kup/kyouiku/> (受付締切:11月4日)